

37ページ  
日本語版









この女  
強すぎる

やり合える  
相手じゃない

待て勇者！



今ならまだ？  
どういう意味だ？



取引しよう

今ならまだ  
ミーアは  
助かるぞ



だが今すぐ  
治療すれば…

この先  
歩くことくらいは  
できるだろう

致死性は無いが  
時間が経つごとに  
後遺症が重くなる

ミーアを  
おとなしくさせる為  
神経毒を盛ったんだ

実は…



そこで  
取引だ

きさま  
なんてことを…



俺を逃がして  
くれるなら  
解毒油を渡そう

※ただのローション

そして  
適切な処置を  
教えてやる

逃がしてやるが  
まずお前が  
治療しろ

今すぐ！

さもなくば  
殺す

それは飲めねーな  
俺を殺せば  
ミーアは  
一生歩けないぞ

争ってる暇は無い  
さっさと決めろ

仲間を  
見捨てては  
ならんぞ

…っ

わかった  
取引に応じよう



こ、股間と尻に!?

...え?



この解毒油を全て股間と尻に塗り込み続ける

全てだぞ



おい 待て...っ

シァーッ



おいミーア しっかりしろ

私だ アルミスだ

治療の為だ...尻を こっち向ける

あんな奴に構ってる暇はない

C  
クリア

治療

アルミス

尻

今のミーマは  
幻撃拳の効果で  
耳にした単語から  
連想される  
くすぐったい  
幻覚が見えてしまう

トプ

トプ

え...!?  
ちよっ...

ナースさん!?

わちゃあ..

い、いくぞ

※幻覚



ぬるぬるした  
手で  
下半身を  
触られると...

あ



はにゃん



ん

思い出し  
ちゃう...

レオンさんとの  
日々を...



ん

こちよ



お、おい...  
変な声  
出すなよ...

私まで  
恥ずかしく  
なっちゃう  
だろ...

ん





なぜ  
そのことを...



こうやって  
下半身を  
こちょこちょ  
されるのが

本当は好き  
なんだろう？



意地はつてないで  
笑っちゃえよ





現実

や、あて下さ  
ぐずぐずた  
ぐずー

わ、悪い

た、他人の股間なんて  
触り慣れてないんだ

ア  
ハ  
ハ

現実

や、あて下さ  
ぐずぐずた  
ぐずー

わ、悪い

た、他人の股間なんて  
触り慣れてないんだ

ア  
ハ  
ハ

現実

や、あて下さ  
ぐずぐずた  
ぐずー

わ、悪い

た、他人の股間なんて  
触り慣れてないんだ

ア  
キ  
ハ  
ハ

現実

や、あて下さ  
ぐずぐずた  
ぐずー

わ、悪い

た、他人の股間なんて  
触り慣れてないんだ

ア  
キ  
ハ  
ハ

現実

や、あて下さ  
ぐずぐずた  
ぐずー

わ、悪い

た、他人の股間なんて  
触り慣れてないんだ

ア  
キ  
ハ  
ハ

# 幻覚

さっきの男にも  
こうやって  
くすぐられて  
喜んでたの？

やあ、あて下さ  
くずった  
びり

天

**ア  
ヒ  
キ**

茶

この変態ネコめ  
やめろと言いつつ  
濡れてるじゃないか



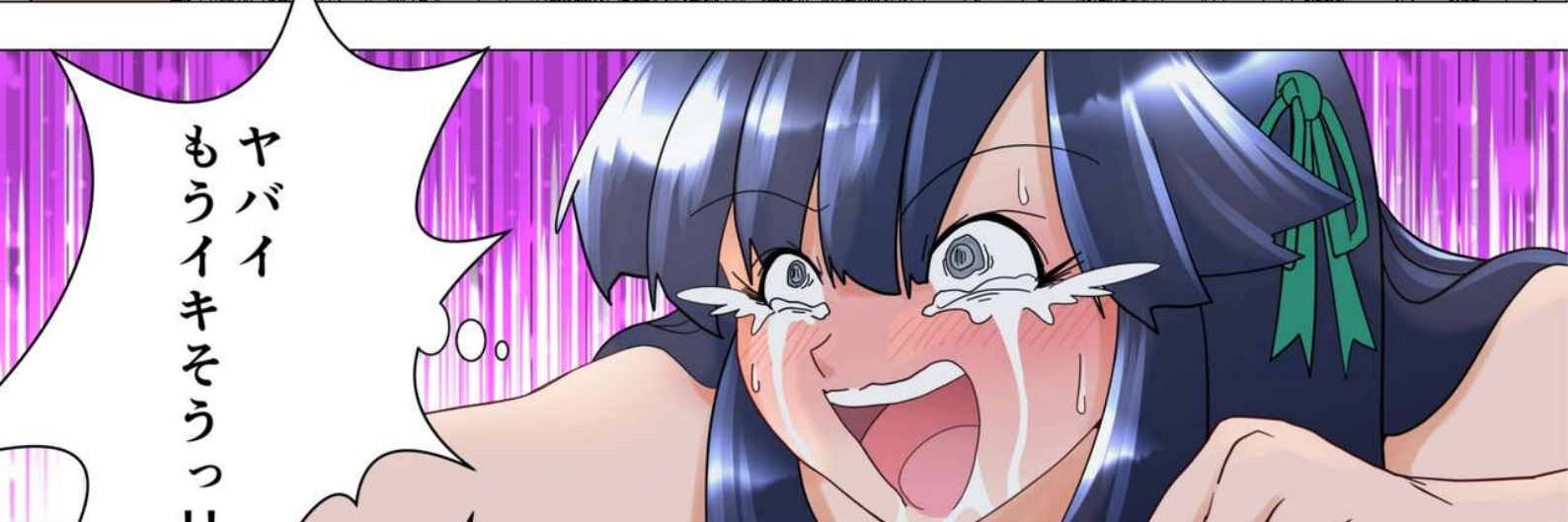
何この指使い…  
なんで  
勇者さまが  
こんなに  
くすぐり  
上手なの…？



ああ…  
勇者さま♡

勇者さまの  
良い匂い…  
綺麗な顔…

いけない…  
だんだん勇者さまの  
こと…







あんたが  
触れっ  
言っ  
手加減は  
しないよ



静脈とか  
リンパとか  
集まってる  
急所なのに

皮膚はとっても  
薄いんだから  
そりゃ敏感なもの  
当然よね

鼠径部って  
くすぐりたい  
よね

もう限界

なんか  
出ちゃって  
ますけどw





ええええ!?

現実

いいイカセ  
ちゃった...?



幻覚

仕上げは  
私の体で...♡



でも途中でやめる  
わけには  
いかないよな...

この解毒油  
全て  
使い切れて  
言ってたし



あああ：  
勇者さま

もう  
勘弁して  
下さい  
ハハハハ

私も  
同じ気持ち  
です：♥

もっと  
イジメて  
くださいっ

勇者さまの  
胸が  
私の腰を  
滑ってる：

ますます  
変な気分  
になるよお

私の鼻先で  
もう一度  
イッて♥

無理でオウッ

ハァアアア

ドッ  
ニッ  
アッ

私の鼻先で  
もう一度  
イッて♥

無理でオウッ

ハァアアア

ドッ  
ニッ  
アッ

私の鼻先で  
もう一度  
イッて♥

無理でオウッ

ハァアアア

ドッ  
ニッ  
アッ

私の鼻先で  
もう一度  
イッて♥

恥がなくて  
無理でイクッ

ハァアアア

ドッ

毒は嘘!?

私がくらったのは催眠術の一種みたいです…

くっ…

あのドラ猫  
野郎…

勇者さま  
ごめんなさい  
変なこと  
させて  
しまって…

えっ…  
いや…

そんなことは  
全然いいんだ

後遺症とやらが  
無くて安心したよ

あの男…

ミーアの名前を  
知っていたぞ  
知り合いか?

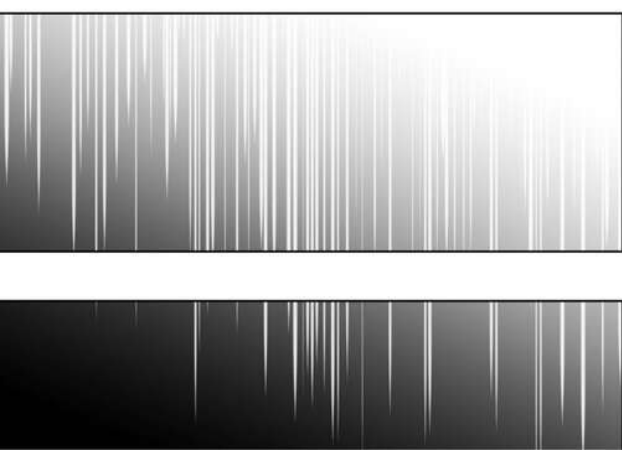
はい…

私の…  
元師匠  
です…

そして  
好きだった人…



俺の武具を  
完璧に  
使いこなしていた  
じゃないか



地獄は  
8層からなり  
下へ行くほど  
苛酷な  
刑が待つと  
言われているが

実は  
最下層に  
最も恐ろしい  
9番目が  
存在する

## くすぐり地獄

どんな罪人でも悔い改め  
笑いながら  
泣いて許しを乞う場所

感覚を持たぬ者  
くすぐりが平気な者

生前どんな体であれ  
ここに落とされた魂は  
極度のくすぐったがり  
になるという

品種改良された  
クーシー(犬人)族の  
女戦士ワンダは  
くすぐりが効かなかった

くすぐたさを感じ取る  
受容器官そのものが  
存在しないだっ!!

そうか...

ワンダとか  
いったな、お前

何だ

ならば体を  
くすぐっても  
意味がないな...

こいつの出番か

そのせいで魔女によって  
魂だけを吸い取られ  
くすぐり地獄に  
落とされてしまった

成功♡



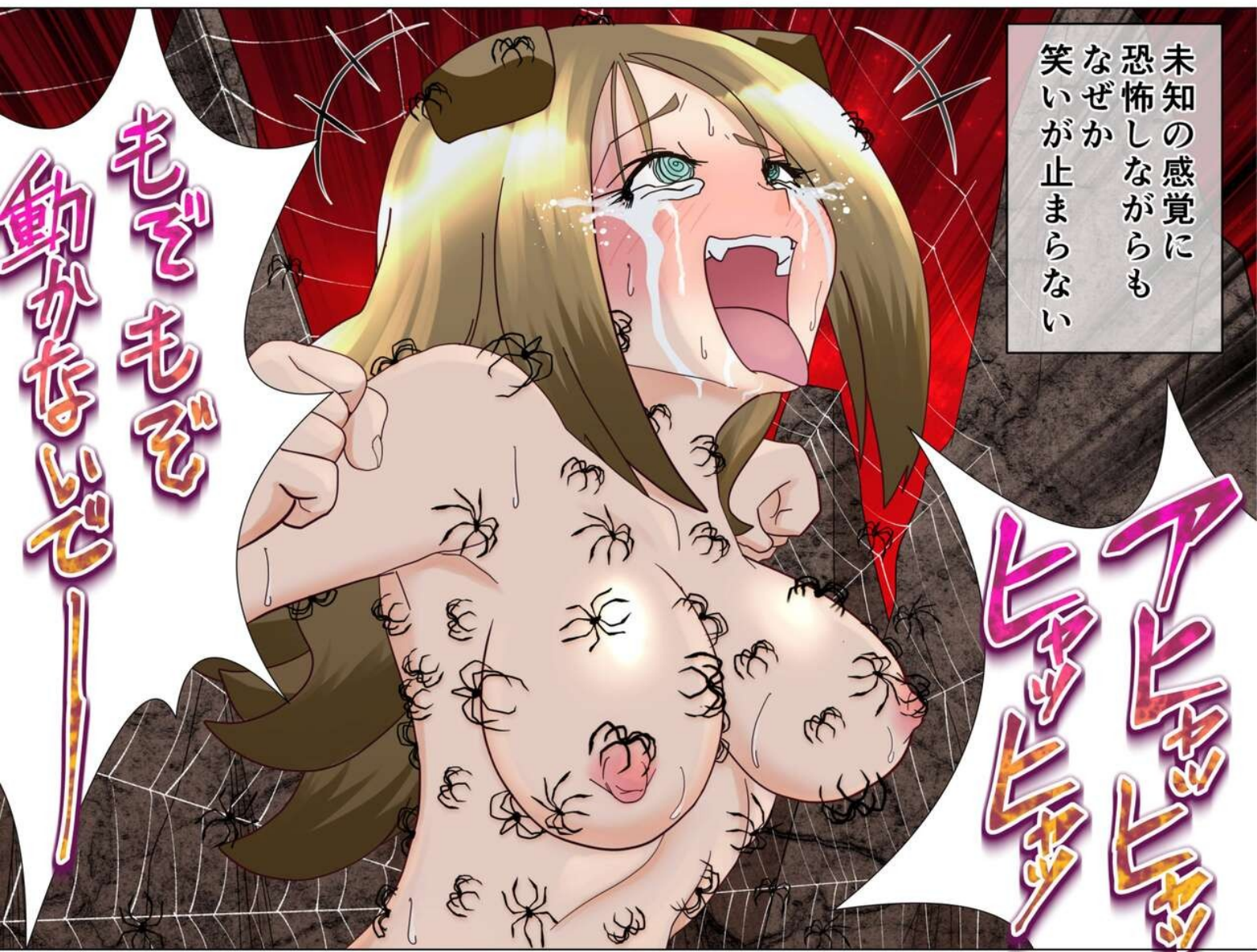
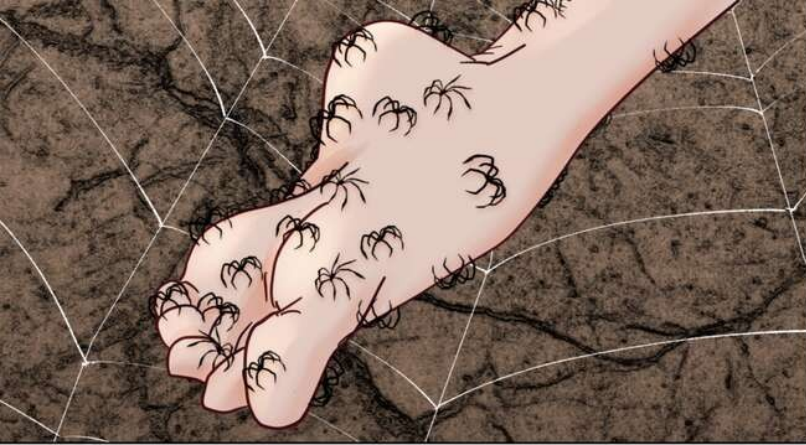
ワンダは  
クーシー族の  
産まれを呪った

地獄の底で  
けたたましい  
笑い声を  
あげながら



初めて知る事になる  
くすぐったいという  
感覚を  
こんな地獄で迎えた  
彼女は  
世界一の不幸者だろう

本来ならば  
親しい者との  
戯れの中で  
覚える感覚で  
あったろう



未知の感覚に  
恐怖しながらも  
なぜか  
笑いが止まらない

もぞもぞ  
動かないでー

アヒャッヒャッ  
ヒャッヒャッ



どうして  
笑って  
しまうのか

もはや  
そんな疑問を  
持つことすら  
できなくなっ  
ていた

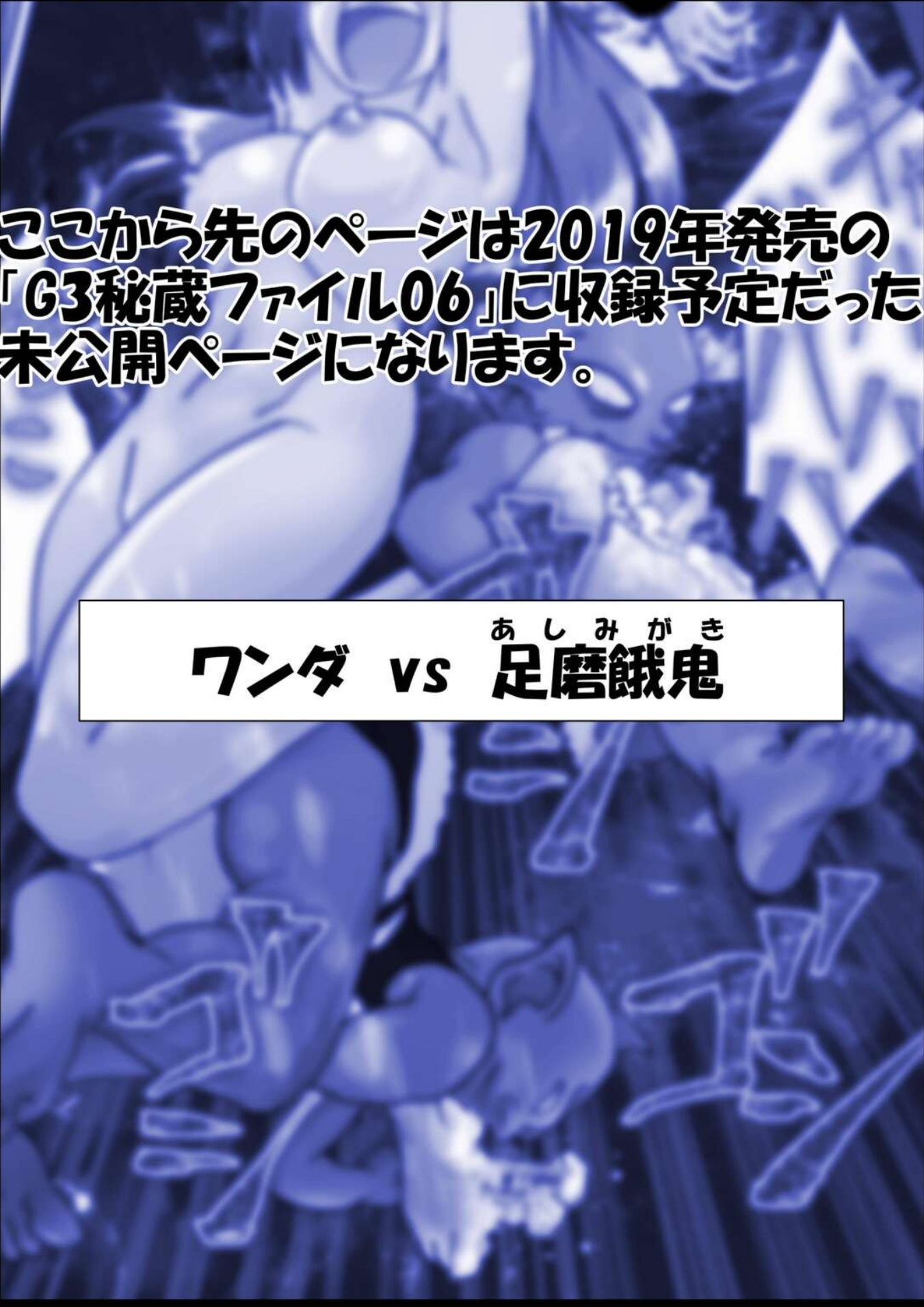


ここで  
くすぐられた  
死者の魂は  
笑いの波動を  
放出する

生者である  
ワンドの  
波動は特に強く  
地獄に広く  
響き渡った

笑いの波動を  
糧とする鬼が  
それを聞きつけ  
やってきた





ここから先のページは2019年発売の  
「G3秘蔵ファイル06」に収録予定だった  
未公開ページになります。

ワンダ vs あしみがき 足磨餓鬼

ここは  
地獄の最下層

くすぐり地獄

閻魔蜘蛛から  
なんとか  
逃げきった  
ワシタは  
彷徨い歩き

おい  
いい女が  
来たぞ

足の裏  
擦り  
まくって  
やる

鬼磨足

最も  
来ては  
いけない  
場所へ

迷い込んだ

うっ!?

ガ  
チャ

ガ  
ン

きゃああ  
なんだ  
貴様ら!

ゼ  
ク

へへへ  
捕まえた♡

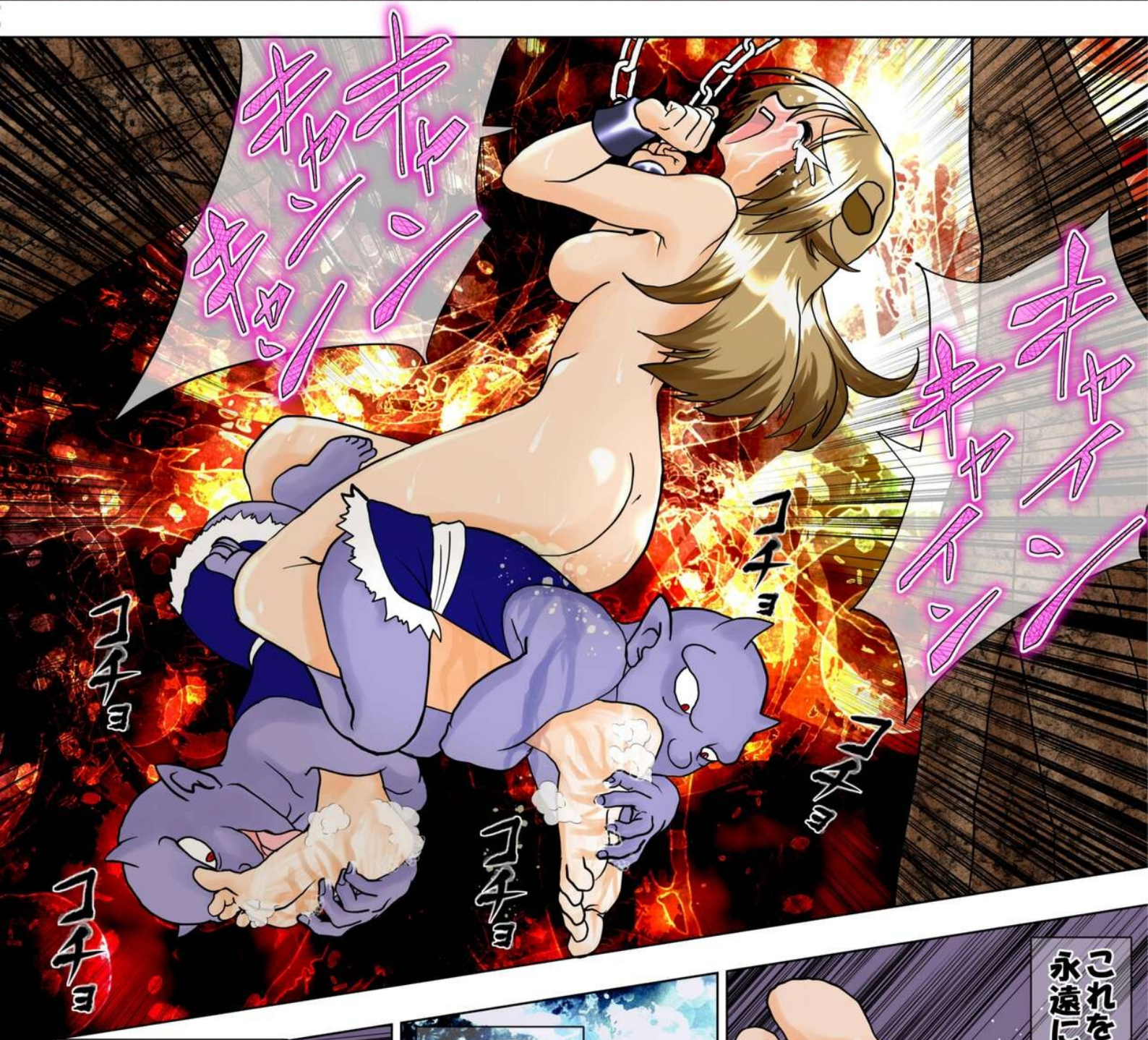


足磨餓鬼

あしみがき  
足磨餓鬼 地獄に落ちた囚人の足の裏を責め続ける鬼

数時間に渡り  
足の裏を  
泡だらけに  
した後は

その泡を  
爪で  
剥ぎ取ってゆく



これを  
永遠に繰り返す

百回を超える  
頃には  
どんな囚人も

二度と  
地に足を  
つけて  
立てなく  
なる  
という

地獄の底で  
這いつくばる  
芋虫にされる



その芋虫を  
狙って  
閻魔蜘蛛が  
集まってくる



くすぐい地獄に  
落とされた囚人は  
こうして

死ぬことも  
許されないまま  
永遠に  
笑い袋として  
鳴き続けるのであった

